

東京



上北沢桜並木で 住民ら花芽観察

世田谷区の京王線「上北沢」駅南側にある上北沢桜並木で29日、花芽観察会が開かれた。地元住民ら23人が参加し、樹木医の石井誠治さんの説明に聞き入った。写真

真。上北沢桜並木は、「せたがや百景」や「地域風景資産」に指定され、多くの人に愛されている。石井さんは長い竹の棒を使って、約50本の桜の現在の状態や弱っている箇所などを解説。若い木の幹の太さを測って

昨年のデータと比べて生育ぶりを確認した。

今年の開花の見通しについて、石井さんは「昭和59年の冬も、今年のようにとても寒く、雪がたくさん降って、梅や桜の開花が遅れた。2月から3月にかけて寒い日が続けば、4月にずれ込むのではないかと語った。区内の別の地域から参加した女性は「上北沢の桜はいい状態に保たれていると思う。とても勉強になった」と感想を述べた。

桜の開花はいつごろ？ 世田谷区の上北沢桜並木で29日、桜の花芽観察会が開かれた。区内外から参加した23人が、地元の樹木医・石井誠司さんから桜の健康状態や長寿の秘訣などの説明を受けた。写真。

観察会は上北沢桜並木の保存活動



桜 いつ咲く？



「寒さ続けば4月に」

をしている地元住民団体が開催。ほかの地域で地元の桜の保存に取り組んでいる人らも参加した。

この桜並木は大正時代に整備されたが、現在植えられている木は戦後のものが中心という。観察会では、石井さんが1本ずつ、木の状況や弱っている部分などを説明。幹を長持

世田谷で花芽観察会

ちさせるための効果的な剪定方法やキノコに侵された場合の対処方法などもアドバイスした。

石井さんは今年の開花時期について「2月から3月にかけて引き続き寒い日が続けば、4月にずれこむのではないかと分析したという。

